

第 23 回介護福祉士国家試験【筆記試験】（1 月 30 日実施）

解答速報(やまだ塾)

問題 1～問題 72(簡易解説付き版)

2011 年 2 月 3 日 10:15 掲載

- 変更はその都度行う。(変更分は青字で表示する)

科 目	問題	やまだ塾の解答	(参考) 簡易解説
社会福祉概論	1	2	「国が憲法 25 条に基づき全国民に対し保障する「健康で文化的な最低限度の生活」水準」(2010 年 6 月研究会)
	2	4	自覚されているニーズ
	3	3	生活保護受給者数, 生活保護世帯数は, 1995 年度を底に上昇している
	4	4	SCAPIN775 の 3 原則: 国家責任, 無差別平等, 最低生活保障
	5	5	都道府県・指定都市社会福祉協議会(窓口業務等は市町村の社会福祉協議会等で実施)
	6	2	これまで, 社会保障制度に関する各種報告の提言では, 負担論として, 2 のように説明されてきた
	7	1	国民年金法第 127 条第 1 項
	8	1	政府が管掌する強制保険制度である
老人福祉論	9	2	・年少人口(0 - 14 歳) ・生産年齢人口(15 歳 - 64 歳) ・老年人口(65 歳以上)
	10	1	「身体的虐待」63.5%, 「心理的虐待」38.2%, 「経済的虐待」26.1%, 「介護等放棄」25.5 の順である
	11	3	高齢者居住安定確保法第 3 条第 2 項第 5 号
	12	5	介護保険法第 51 条の 3
	13	1	事業所のある市町村の被保険者だけがサービス利用が可(他の市町村長がその事業所を指定す

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2011 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

			れば利用は可)
	14	4	「登録日」は、利用契約締結日ではなく、サービス開始日
	15	4	地域全体を包括的にケアしていくためのネットワーク拠点を目的して創設された
	16	2	・70～74 歳:2 割であるが、2008 年 4 月から 1 割に据え置き ・75 歳以上:1 割 ・70 歳以上:現役並み所得者は 3 割負担
	17	5	「高齢者世帯」、「障害者世帯・傷病者世帯」、「母子世帯」の順である
	18	1	保健師助産師看護師法第 5 条
障害者福祉論	19	1	じん臓の機能の障害:1 級, 3 級, 4 級
	20	3	「国連・障害者の十年」(1983～1992 年) ・「障害者の機会均等に関する標準規則」(1993 年)
	21	5	障害があっても地域で安心して暮らせる社会を構築する方向にある
	22	2	購入又は修理に要した費用(基準額)の 90/100 相当額(補装具費)が支給される
リハビリテーション論	23	1	・頸髄損傷:四肢麻痺 ・胸髄・腰髄損傷:対麻痺
	24	3	同じ姿勢を長く続けないことや自助具の使用などによる関節保護
	25	2	統合失調症の場合、急性期、休息期を過ぎた頃からリハビリを始めるのが有効とされる
	26	4	専門職のそれぞれが独自の視点で関わるが、ゴールや役割分担の明確化は必要である
社会福祉援助技術(演習を含む)	27	2	社会福祉士及び介護福祉士法第 47 条第 1 項
	28	1	多様な資源の総称で、フォーマルなものインフォーマルなものに区分される
	29	5	援助過程を振り返ることは、自己覚知に結びつく
	30	3	ボランティアや住民が主体となって、近隣同士の見守り、助けあいが育まれるための拠点を作る
	31	4	第 16 回社会福祉概論で同一問題が出題

	32	2	相談支援専門員は、障害者等の相談に応じ、助言や連絡調整等の必要な支援を行うほか、サービス利用計画を作成する
	33	5	適切な情報収集は重要である。ただし、叔母からの情報収集には、本人の同意が必要である
	34	4	利用者に対する的確な評価、判断と援助をしていくために、本人の出席は欠かせない。本人および家族が望む対応を、今一度確認する場になる
レクリエーション活動援助法	35	5	楽しみながら、より生き生きとした生活が継続でき、生活の質を高められる
	36	4	利用者の意見を反映させることが大切である
	37	2	利用者にとって取組みやすいプログラムを考慮する
	38	5	利用者の願い、思いを反映させる
	39	1	昔の話をゆっくりとして、過去の記憶をたどってもらう
	40	3	利用者が活動の主体となる
老人・障害者の心理	41	1	自分の経験、イベント(出来事)に関する記憶
	42	4	出来事全体をごっそり忘れてしまう
	43	1	トーマス・キャロルの『BLINDNESS WHAT IT IS, WHAT IT DOES AND HOW TO LIVE WITH IT』の20の喪失の一つとして挙げられている
	44	3	高度難聴: 耳元の大声ならなんとか聞き取れる
	45	5	「社会性」「コミュニケーション」「創造力と想像力」に障害を持つ
	46	2	信頼できる情報を得るために、多面的総合的に解釈する
	47	2	高齢者虐待防止法第2条第4項第1号イおよび第2号
	48	4	「改定長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)」で用いられる
家政学概論	49	1	「非消費支出」とは、税金や社会保険料など世帯の自由にならない支出及び借金利子などが(「家計調査報告」)
	50	3	タンパク質は細胞や免疫物質の構成成分

	51	2	濃厚卵白の割合が多い方が、新鮮である可能性が高い
	52	4	かゆの上澄み液
	53	3	小麦粉を加熱すると、魚の表面に膜を作り魚の旨みを包み込む
	54	5	嚥下しやすいのは、プリン状、ゼリー状、ポタージュ状、蒸し物、粥状、等である
	55	1	アクリルなどの化繊が入ったものだと必ず毛玉ができる
	56	5	HOT では、機器の周囲 2～3 メートルは火気厳禁
医学一般	57	4	腕頭動脈は体表から触れない
	58	3	塩分の摂取量が多いと、血液中のナトリウムの濃度は上がり、血圧は上昇する
	59	4	くも膜下出血の警告サインは、激しい頭痛である
	60	1	2000 年 11 月より、胃十二指腸潰瘍でピロリ感染が認められた場合、除菌療法が保険で認められている
	61	5	C 型肝炎は、全体の約 65%といわれている
	62	2	高熱の場合、腎盂腎炎などの病気が疑われる
	63	2	高脂血症のなかでも、中性脂肪が多い状態のものである
	64	4	HbA1c 値は、過去 1 か月～2 か月の血糖状態を表す
	65	1	骨量が低下する
	66	3	急激な視力低下
	67	1	医療法第 10 条第 1 項
	68	5	2006 年 4 月から在宅療養支援診療所制度がスタートした
精神保健	69	5	男性では、50 歳代をピークとする大きな山が形成されている
	70	3	男児に多く、ほとんどは一過性で 1 年以内に消える
	71	3	認知症と診断されるには、意識の清明が前提
	72	1	精神保健福祉法第 29 条第 2 項